

# 平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Aコート	第2試合 10:30~													
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>船橋市立船橋</b> 千葉 1位		99 { <table border="0"> <tr><td>27</td><td>1Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>33</td><td>2Q</td><td>15</td></tr> <tr><td>23</td><td>3Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>16</td><td>4Q</td><td>29</td></tr> </table> } 87		27	1Q	26	33	2Q	15	23	3Q	17	16	4Q	29	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>常磐大学</b> 茨城 2位	
27	1Q	26															
33	2Q	15															
23	3Q	17															
16	4Q	29															

## 【Aブロック】

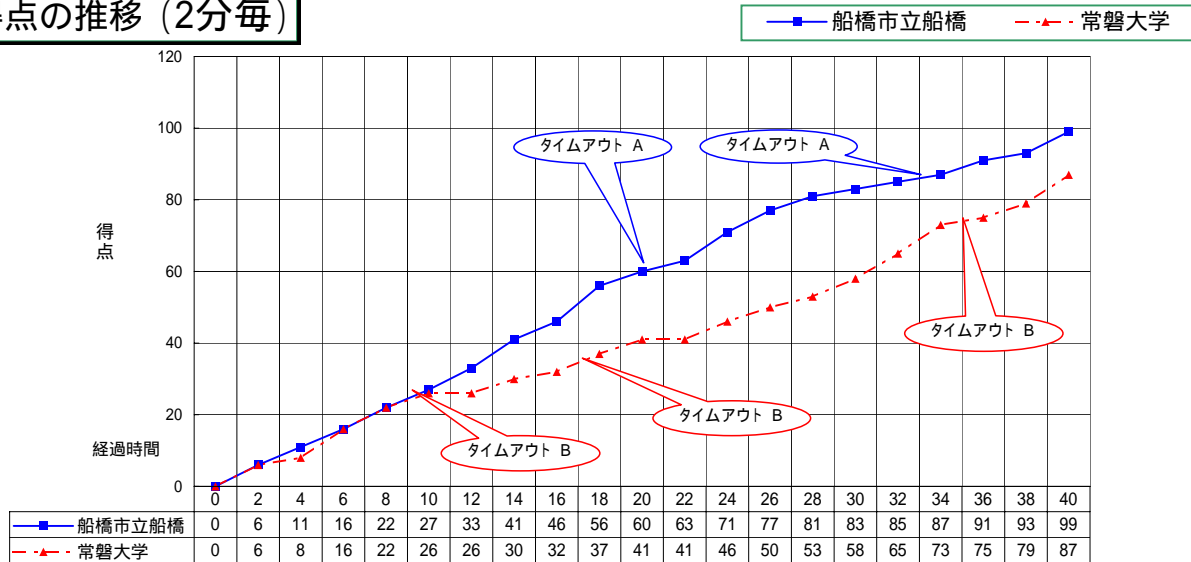
主審：緒方 崇(東京) 副審：山岸 大輔(埼玉)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	星野 拓海	28	1	11	3	3
	5	和田 保彦	18	3	4	1	2
	6	三富 修平	22		11		1
	7	河合 智平	2		1		3
	8	鍵富 壘					
	9	渡部 大樹	2		1		
	10	森山 翔太	6		3		1
	11	藤岡 昂希	3		1	1	5
	12	安田 太樹	9		4	1	3
	13	齋藤 滉太	7		2	3	4
	14	岩崎 翔也					
	15	葛 尚也	2		1		
	16	平良 彰大					2
	17	山田 侑樹					
	18	出羽 峻一					1
コーチ		近藤 義行					
合計			99	4	39	9	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	花島 基行	19	1	5	6	4
	5	関口 洋平	4		1	2	2
	6	小坏 広大	8		3	2	1
	7	大場 一磨	27	2	6	9	4
	8	長澤 新	11	3	1		3
	9	笹目 築久	5	1	1		1
	10	内山 拓未					
	11	皆藤 庄吾					
	12	村上 隆征					1
	13	木村 浩樹	5		2	1	1
	14	会沢 翔太	8		4		
	15	小沼 恒平					
	16	大崎 修司					
	17	関根 響					
	18	関口 恵介					
コーチ		川崎 秀典					
合計			87	7	23	20	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

## 得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者： 長谷川 智子

第1P, ドライブインからファウルを誘い両チームとも積極的なオフェンスを展開。市立船橋はマンツーマン、2-1-2ゾーンを駆使し、ディフェンスの目先を変えるも、常磐は花島の3p, バスケットカウントなどで応戦。どちらも譲らない激しい攻防となった。  
 第2P, 市立船橋の速攻が決まり、スティールからの加点、星野のインサイドでのパワープレーを中心にペースをつかむ。常磐は、市立船橋の高さを意識してかシュートがはいらず、苦しい立ち上がり。流れをかえたい常磐は、ゾーンプレスをしかけるも、市立船橋は落ち着いたバスワークによりゲームをコントロール。60対41で市立船橋リードで前半終了。  
 第3P, 市立船橋 三富の攻守にわたるリバウンド、高さを生かしたワイドなゾーンに対し、常磐は攻めあぐね、前半の悪い流れを変えることができないまま、第3p終了。  
 第4P, 常磐 大場の3pが決まると足が動きだし連続得点するも、すぐにタイムアウトをとった市立船橋は、時間をつかって の2対2などを中心に得点を積み重ねる。  
 メンバーをフルに活用した市立船橋が、99対87で一回戦を突破した。